

2017・18年度
国際ロータリー第2790地区

GOVERNOR'S MONTHLY COMMUNICATION

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES IN DISTRICT 2790 (CHIBA)

5月号

5

2018年
MAY
VOL.11

葛飾辰女 朝顔と美人図

青少年奉仕月間



ロータリー：
変化をもたらす

Rotary



COPY FOR MEMBERS



地区行動指針 理念と実践 ～Think Next～



国際ロータリー第2790地区
2017-18年度ガバナー 寺嶋 哲生 (柏RC)

第23回日本青少年交換研究会にあたって

来る5月12日・13日の両日、幕張メッセにおいて「第23回日本青少年交換研究会・千葉会議」が開催されます。この千葉会議は、特定非営利活動法人国際ロータリー日本青少年交換委員会が主催する会議で、毎年一回、全国各地の一つの地区において開催されます。昨年は鳥取県米子市で開催されましたが、今年は当地区が担当する運びとなりました。

同交換委員会は、英文名「Rotary International Japan Exchange Committee」の頭文字を並べて、RYJYEC（ライジェック）と呼ばれます。ライジェックの活動費は、日本の34地区の会員一人一人が年間200円を支出する事によって賄われておりますので、2790地区の会員の皆さんからも毎年200円ずつ支出していることとなります。

ライジェック設立の契機となったのが、2002年11月に公表されたRI理事会決議「青少年と接する際の行動規範に関する声明」です。この声明に基づきRIは、青少年交換プログラム（YEP）に参加する青少年の保護のために、YEPに参加する為の条件として各地区に対して次の3点を義務として課しました。つまり、①地区危機管理委員会を設置する②地区あるいは地区青少年交換委員会を法人化する③その法人は虐待およびハラスメント防止を目的とした保険に加入する、の3点です。

この内、①は日本国内34地区が独自に対応する事が可能ですが、②の法人化については事務手続きとコストが過剰となり、地区毎の対応は困難です。また③については、契約を交わす当事者能力として、法人化をしなければ対応できません。この難問に対応する為に、国内の全地区が共同して法人を設立し、適切な保険に加入可能となるスキームを作るために設立された組織がライジェックである事になります。

ライジェックは今年度において更に進化し、RIの認証する多地区合同組織として、一般社団法人国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構（RIJYEM）に移行しようとしております。いずれにせよ、ロータリーの行うあらゆる青少年育成事業に対し、ロータリーが当事者としての責務を明確にして責任ある事業を遂行できるものとすべく、多くの方々の善意によって支えられている。その象徴的存在が、RIJYEMであると言えます。

このように重要な役割を担うRYJYEC・RIJYEMの研究会・千葉会議であります。地区内で開催される希少な機会でございます。ご興味ある向きは是非ともご参加頂きたく、お願い申し上げます。



「青少年月間にむけて」

青少年奉仕統括委員会 委員長 津留 起夫 (市原RC)

◆RIは、7月を除いて毎月ロータリーの特別月間を指定しています。そして5月を青少年月間としており、その目的はクラブだけではなくロータリアン一人ひとりがロータリーの青少年プログラムの活動に参加するよう強調する為としております。また、ロータリーの特別週間として、4つが指定されていますが、その内3つが青少年プログラムに関する特別週間となっています。

- 1) ロータリー学友参加推進週間 (10月7日を含む1週間)
- 2) 世界インターアクト週間 (11月5日を含む1週間)
- 3) 世界ローターアクト週間 (3月13日を含む1週間)

この様に、RIは青少年プログラムへの関心を集めようと努力をしていますが、特別月間、特別週間をきっかけとして、クラブやロータリアンが地域を巻き込んで活動を盛んに行う事が期待されています。ここにいう青少年プログラムとは、RIが指定しているIAC、RAC、青少年交換、RYLAの4つのプログラムですが、これに止まらず各クラブ、其々のロータリアンが青少年と共に活動をしていることへの顕彰をも含めての月間と理解して良いでしょう。

◆高校生が訓練中に雪崩に巻き込まれるという痛ましい事故が記憶に新しい訳ですが、活動リスクに組織的に備える対策を取るようにRIより指導が出ております。それが「ロータリー青少年保護の手引き」です。概ねRIのこの種の指導は、地区やクラブが対応するまでの数ステップ前を先行するのが通常ですが、この指導の中で、急いで検討しなければならない事項は「賠償責任保険」と「ボランティア申込書」です。ボランティアについてRIは、「ボランティアとは、監督者の有無に関わらず、ロータリーの青少年活動で青少年と直接の接触を持つすべての成人」と定義しており、また、「青少年プログラム参加者とは、未成年、成人を問わず、ロータリー青少年プログラムに参加する者」としています。

◆現在、地区やクラブが行う青少年プログラム活動の中で、IAC、RAC、RYLAについては、賠償責任保険に加入していません。活動中の事故に対する責任として、クラブ会長や担当委員長に高額な賠償金支払いが課せられた時には、係争中の経費を含め対処が出来ない状況となっています。

◆小学児女が学校の保護者会の指導者によって殺害されたことも最近です。奉仕団体の多くは、ボランティアとして参加する人物の評価をしていません。当地区もその例外ではありません。そしてRIは、評価をすることを指導しています。それが、ボランティア申込書です。この申込書のキーポイントは、犯罪歴の自己申告と身許確認者3名を立てることです。こうなると、いったい何枚申込書が必要なのか担当委員長は困惑してしまいますが、ここは議論が沸騰する事を期待いたします。そして、リスクに対する組織的な備えとしての「賠償責任保険」の加入と、リスクの減少についての「リスク予知セミナー」の実施を希望するところです。

◆現在、地区の青少年プログラム委員会が、83クラブよりの拠出金からなる地区奉仕活動資金の約53%によって運営・活動をしております。多くのサポーターが少数のプレーヤーを支援している状況です。理想は、83のサポーターが83のプレーヤーとなることです。青少年月間の目的もここにあります。

◆地区委員会の活動状況を見ますと、前例踏襲の域を脱していません。地区委員会は、それ自体は奉仕活動の主体ではありません。あくまでも主体となるクラブを支援する立場です。多くのプログラム参加クラブの意向で活動が行われなくてはなりません。そのような活動であれば、「金喰い委員会」などと揶揄されることはないはずですが、地区青少年部門委員会を良くするのも悪くするのも、サポーター83クラブが如何に関心を持つかに関わっております。

愛情の反対は憎しみではありません。無関心なのです (マザーテレサ)



ロータリー平和フェローまでの道のり

アレサンドラ・プラマー

本日は、お招きいただきありがとうございます。これから、私が平和フェローになるまでの道のりについてお話します。私は大きな分断と人種差別の時代であったアパルトヘイトの時代に南アフリカで育ちました。子どもながらに、それがいかに不公平なことであるかを感じていました。10代でイングランドに戻り、メディア、特に政治や私たちの思考形成におけるメディアの役割について関心を持ちました。大学の学部では「コミュニケーションとメディア学」を専攻し、卒論は、9.11（アメリカ同時多発テロ）後にメディアで用いられた「恐れ」の概念について取り上げました。このように、「平和」のために働きかけることをいつも身近に感じ、将来はそれを実現するためにグローバルに働くことを意識していました。大学卒業後、韓国に渡って英語を教え、そこに暮らす北朝鮮からの亡命者の方々と、彼らの過酷な環境について知り、このように苦しむ人々のためにもっと役立ちたいと思いました。それがきっかけとなり、タイとミャンマーの国境付近で教育活動を行う人権団体の仕事に就き、女性の権利を守るグループを通じて、ミャンマーの子ども兵士に反対する運動（アドボカシー）に携わりました。ミャンマーという国の再建に貢献したく、メディアと教育に関心を持ち続けていたので、留学を目指す難民の学生のためのオンライン学習ツールを作る仕事をしました。その後、カンボジアにあるシェムリアップという農村地域で、生計向上と教育の改善を進めるNGOの運営に携わりました。

3年後、これまでの現場経験を理論的に纏めたい。そして、実践的に平和について考察する新しい方法を見つけたいと思うようになりました。何らかの理論が、現場で働く間に直面した多くの疑問や矛盾を解決するのに役立つのではないかと考えたのです。その後、友人からロータリー平和フェローシップ制度のことを聞き、応募するに当たって、ロータリーとの関係性を示す必要があったため、カンボジアでのNGOが米国系の団体だったご縁で、カリフォルニア州のトラッキーRCと繋がりました。長い道のりを経て、私が一番希望していた日本で学ぶことになり、とても恵まれました。2016年7月に来日し、6週間の語学コースを皮切りに授業を取り、研究計画を立ててきました。研究対象は、NGO団体が行う参加型

開発プロジェクトにおける音響・映像手法の利用です。このテーマを、東アフリカの国であるタンザニアの持続可能な農業に関連付けて、論文の基盤となるフィールドワークを取り入れた事例研究を行っています。研究タイトルは、「参加の実践：タンザニア農村地域の小自作農民グループにおける音響・映像ツールの批判的検討」です。

ロータリーは、夏季に世界中どこでも実施できる「専攻分野の実地体験プログラム」を行っています。私の場合、研究を拡大し、研修、インターンシップ（職業体験）の経験をし、これはフェローシップの大変貴重で重要な部分だと感じました。また、DITSLという学術研究機関と共同で、ドイツ政府が運営する、タンザニアの小自作農民のための大規模な食料安全保障プロジェクトに関わりました。このプロジェクトは、農村地域で食料の安定供給の改善を目的としています。そこで実施したビデオワークショップや、プロジェクトの参加型モニタリング・評価のデータは研究に使う予定です。そして、オーストリアで開催される平和教育に関するワークショップにも参加します。これらの為になる学びの機会を与えていただいたロータリーにとっても感謝しています。

フェローシップはこの6月で終わりを迎えるため、現在は、タンザニアで集めたデータを基に研究結果について執筆中です。私の夢は、特に紛争後の地域において、協調を促し、開発分野（※所謂「途上国支援」、「国際協力」と言われる分野）の参加型活動を有効活用できるようにすることです。希望としては、NGOに対して、活動の効果を上げるためのコミュニケーションツールの利用と、適切な形で資金および支援が提供されるよう支援団体（ドナー）への情報提供についてコンサルタントをしたいです。さらに、平和構築のための音響・映像手法の仕事に関わりたいです。最後に、私の人生においてこのように非常に特別で大切な道を歩むことができ、その機会をくださったロータリーに改めてお礼申し上げます。そして、いつも温かく迎え入れサポートして下さる日本のホスト（ファミリー）に感謝しています。

要約・翻訳：波多野奈津子（2015-16年度英国留学・ロータリー地区補助金奨学生）



ロータリー平和フェローシップに応募したきっかけ

ナターシャ・ヴェナブルズ

現在の私へと繋がる道筋の大きなきっかけとなったのは、15歳の時、生まれ育ったジンバブエで、看護師であった母を手伝って、暴力的な政治闘争で重傷を負った男性を看病した際に、人権侵害の残酷さに気付いたことでした。当時のジンバブエは、内戦は終結していましたが、食糧不足、人種差別、貧富の格差が、人々の不満、紛争、死の原因となっていました。今こうしてお話すると、とても特別なことが起こっているように感じられるかもしれませんが、しかし実際に目の前でそういうことが日常的に起こっている環境で生きていると、感覚が麻痺して、自分の目の前の現実を普通のこととして受け入れてしまい、現実に圧倒されて無気力になってしまうものです。そんな中で、現実を変えるための最初の一步は、目の前の現実とは異なる、理想的な世界を想像することなのです。

その意味で、オーストラリアに引っ越したことは、異なる現実を体験し衝撃を受ける良い機会でした。安全で安定した社会で暮らす人々を見て、同じ人間として、人種に関係なく、そのような特権の下に生まれていない人々を助ける責任を負っていると確信し、ジンバブエに戻って人権侵害と闘うために自分を成長させる必要性を痛感しました。

そして赤十字で避難所を求める人びとのためのケースワーカーとして働いた経験から、国籍などというものはほとんど重要ではないと感じると同時に、より一層、世界における不正義と人権侵害を解決することに貢献したいと考えるようになりました。

Young Women's Leadershipプログラムに参加し、文化の多様性の力を知り、以来その考え方に魅了されてきました。そこでは、世界中から集まった、信念も背景も異なる女性たちが、多くの共通項を有し、世界をより良くするという共通の目標を持っていることを学びました。ワークショップを通して、

それぞれの違いを認め合い、他者を固定概念に押し込めたり、違っていることを非難しない、ということについて語り合いました。

インドネシアでは幼稚園で子供たちと野菜を育てる支援を、バヌアツでは火山灰で食糧生産を脅かされている人々の保護を、オーストラリアのパスでは子供たちに人権について教え、避難所を求める人々の心の傷を取り除き、問題を抱えた人々を男性刑務所での暴力矯正プログラムに参加させる仕事に携わりました。私の人生の大半を占めているのはこうした様々なボランティア活動で、これによって多くの能力を学ぶ経験になっただけではなく、様々なものの見方と人脈とを得る機会にもなりました。

重要なことは、一つ一つは小さいけれど日々の活動の積み重ねが、誰かの人生を変えることができるということです。大きな問題を一気に解決しようとしても、問題の大きさに圧倒されてしまいます。小さくても毎日起こすことができる変化に目を向けることが、私たちが世界を変えるために始められる、持続可能な方法なのです。

現在、国際基督教大学での修士課程における私の目標は、意思決定に影響を与えているグローバルな視点、政策、実務をより良く理解し、実際に自分が、ローカルな次元で、どのようにしてこれらに影響を与えることができるかを理解することです。

ロータリー財団が目標としていることは、私がこれまで世界の様々な地域で取り組んできた課題と合致しています。それが、私がロータリー平和フェローシップに応募した理由です。皆さんにも門戸は開かれていると思いますので、ぜひ将来挑戦してください！

要約・翻訳：宮坂真依子（2012-13年度英国留学・ロータリー国際親善奨学生）



「地区大会青少年の集い」

青少年奉仕統括委員会 委員長 津留 起夫 (市原RC)

2月25日(日)に寺嶋ガバナー年度地区大会で「青少年の集い」が開催されました。この集いは、青少年プログラムに参加しているIAC、RAC、青少年交換学生、RYLA参加者が集う場所です。プログラムの枠を超えてのクロスプロモーションです。

ローターアクト地区代表の柴崎さんをはじめ、ローターアクターが、集いの進行をします。今年度は、ロータリー平和フェロシップ委員会織田委員長のお骨折りで、ロータリー世界平和フェロー(RPF)のアレサンドラ・プラマーさんとナターシャ・ヴェナブルズさんのお二人の卓話を聞く事が出来ました。

アパルトヘイトの人種差別を目のみにした体験やジンバブエ内戦後の混乱を実体験したお二人ですが、このことがロータリー世界平和フェローに応募した原点だと話をしてくれました。そして、「みなさんにも門戸は開かれている」とナターシャさんは優しく会場の青少年に語りかけています。事前に翻訳をしていただきましたロータリー財団学友の波多野奈津子さん、宮坂真依子さんに感謝いたします。

さてその次にローターアクターが繰り出してきたのは、「タワー世界一ゲーム」です。ストロー数本をテープやマシュマロ、糸などを駆使してその高さを競うというゲームです。RPFも仲間に入り楽しみました。これは、プロジェクト完了までの計画、実施を分担するゲームですが、リーダーシップに基づいたチームワークが試されるゲームです。

さてその次にローターアクターが繰り出してきたのは、「タワー世界一ゲーム」です。ストロー数本をテープやマシュマロ、糸などを駆使してその高さを競うというゲームです。RPFも仲間に入り楽しみました。これは、プロジェクト完了までの計画、実施を分担するゲームですが、リーダーシップに基づいたチームワークが試されるゲームです。



タワー世界一ゲーム

ローターアクトが活発な地区は、やはり元気な地区が多いと言えます。彼等の持つ自由な発想力と行動エネルギーにはかないません。ロータリアンは、社会の既成概念からそれらを守る努力が期待されています。



平和フェローによる卓話



インターアクト卓話への質問



グループミーティング

今年度も無事「青少年の集い」を終える事が出来、関係各位には心より御礼を申し上げます。ただ心残りは、米山奨学生や米山学友との合同開催が会場の関係で出来なかったことです。次年度ではクロスプロモーションの拡大を期待いたします。



青少年集い集合写真

I M開催報告



第1分区 ガバナー補佐
増田 定男 (市川RC)

第1分区IMは、2月8日(木)山崎製パン総合クリエーションセンターに於いて約100名のご参加をいただき開催されました。

第1部は1階LCCホールにて、山崎製パン株式会社代表取締役社長 飯島延浩様に「21世紀のヤマザキの経営方針と手法」というテーマで基調講演をお願い致しました。終戦後、数坪のパン焼窯を備えたパン屋から創業し、世界のヤマザキとなるまでの過程

と今後の世界戦略についてお話しいただきました。

第2部の懇親会は2階のコンファランスフロアに場所を移し、女優の一色采子さんより、御父上で日本画家の大山忠作氏のお話をうかがいました。飯島社長ご夫妻にもご参加いただき、和やかな中にも有意義な一日となりました。



第2分区 ガバナー補佐
国分 裕二 (船橋みなとRC)

第2790地区の皆様、第2分区ガバナー補佐をしています国分裕二です。第2分区でのIMは2月6日(火)船橋グランドホテルにて開催致しました。内容は2部構成とさせて頂き、1部は財団委員会の宇佐美透バスターガバナー、財団資金・推進管理委員会委員長の水野晋治様にロータリー財団についてわかりやすくお話をさせて頂き、より多くの方々の財団に対するご理解を深めて頂けたと思います。

2部は、各クラブ会長エレクトの方々、入会5年未満のロータリアンの方々に登壇頂き、会長エレクトの方々には今後の抱負などを熱く語って頂き、入会5年未満のロータリアンの方々には、入会後のご自身の考え方や環境の変化などご披露して頂きましたことをご報告致します。



第3分区A ガバナー補佐
宮本 和夫 (千葉幕張RC)

合同会長幹事会において、IMのテーマや構成について討議を重ねた結果、財団より講師をお招きして、補助金やポリオの講話をお願いし、その理解を深めることとしました。講話を聞いた後、入会歴の浅い会員の方にディスカッションで忌憚のない意見を交わしていただき、会員増強・退会防止も含めてクラブ運営に反映させようではないかということとなりました。

地区委員の方の講話はパワーポイントを駆使して、

熱のこもった大変有意義なお話しとなりました。

また、パネルディスカッションは、コーディネーターに千葉クラブの清田氏をお願いし、絶妙な進行により、緊張気味の7名のパネラーの方から本音が引き出せ、楽しい時間となりました。

引き続き開催された懇親会では、松田聖子さんのモノマネをする神田聖子さんがステージ上から客席まで歌い、歩き、楽しませてくれました。ちょっと老けた聖子ちゃんでしたが、一緒に写真を撮る方が続出する等、かなり盛り上がり楽しんでいただけたかと思います。開催に当たりご協力いただきました皆様方に感謝申し上げます。



IM開催報告



第3分区B ガバナー補佐
小池 清二 (市原RC)

2月7日(水)第3分区BのIMを、112名の参加者で開催いたしました。RI会長「ロータリー：変化をもたらす」、寺嶋G「理念と実践」を基に、IMは「分かち合おう・楽しもうロータリー」のテーマを掲げての開催です。

身近な教本である「ロータリーの友」前編集長の二神典子様をお迎えして、①今後のクラブ運営とロータリアンの処すべきこと、②各クラブ運営と奉仕

活動の発表に対する講評、③ロータリーとは何かの3項目について、参加者と対話方式で研修を行いました。参加者から参加して良かったと称賛されました。

研修の後は今後の他クラブの会員との親睦を深める為、席順を配慮しての懇親会を開催しました。講演内容、アトラクションに満足し、散会しました。



第6分区 ガバナー補佐
志田 延子 (茂原中央RC)

去る2月20日、一宮町老舗旅館国登録有形文化財芥川荘のある「一宮館」において第6分区IMが開催されました。来賓に第6分区杉木バスターガバナー・バスターガバナー宇佐見透地区研修サプリーダー(幕張RC)を迎え、会員140名の出席のもと、奉仕プロジェクト委員会石井弘委員長(松戸西RC)を講師に「夢を語り、夢を実現させるために一歩踏み出そう!一歩踏み出すとクラブに感動と活力が湧き、クラブに

変化をもたらします!」をテーマに講演をいただき、一歩踏み出す勇気とこれからの我々のロータリー活動に夢を持つことができました。

次期ガバナー補佐から突然第6分区という言葉がなくなり、次年度からは我々の地区は第7グループと呼ばれることとなった報告をいただき、とても寂しく思っております。



第7分区 ガバナー補佐
中村 亮太 (旭RC)

3月4日(日)第2790地区第7分区IMを開催した。70名を超える大勢のご参集を頂き、奉仕プロジェクト統括委員会石井弘委員長(松戸西RC)にご足労を頂き「夢を語り、夢を実現させるために一歩踏み出そう!一歩踏み出すと、クラブに感動と活力が湧き、クラブに変化をもたらします!」のテーマでのお話を頂いた。

平成29年3月26日の会長エレクト研修セミナーに

て委員長のお話しを聞き、これこそIMにぴったりの講師だと直感し、すぐに第7分区の会長に意見を求め了解して頂き、失礼を顧みず、その場にてIMの講話をお願いしたものでした。50分の長時間をものともせず、お話に聞き入り、わくわくどきどきさせて頂き、あっという間に時は過ぎていきました。

その後宴に入りましたが、石井委員長には最後までお付き合い下さいまして、各テーブルに回ってお話し頂きました。おかげさまで「これぞ第7分区のIM」と言っても過言でないIMになったと自画自賛しております。誠に有り難うございました。





第8分区 ガバナー補佐
高岡 正人 (小見川RC)

第8分区IMは3月14日、小見川の「春本」で行われました。IMとは各クラブが一堂に会し、情報交換し合う都市連合会の事です。当8分区では何をしようか検討する中で、参考までに他の分区の例を調べてみると、次期会長、幹事の抱負を聞く分区がありました。この方式への賛同が一番多かったので、当分区もそれでいくことにしました。

小見川RC、佐原RC、佐原香取RC、多古RCの4ク

ラブの各会長より、現在までの報告と次期会長・幹事を紹介して頂き、抱負をお聞きしました。今までは他クラブの次期役員の顔も考えも知る機会は少なく、今回のIMで他クラブの様子も少し分かり、「面白かった」と好評でした。最後に次期ガバナー補佐の田中量教さんより、「まだ次年度の話は教えない」という挨拶を頂き、その後の懇親会では大いに盛り上がりました。



第9分区 ガバナー補佐
諸岡 靖彦 (成田RC)

第9分区のIMは6クラブ合同例会として、3月3日(土)13:30点鐘で開会されました。会場はANAクラウンプラザ成田、テーマは『クラブの奉仕活動を考える』でした。総勢140名の参会者が一堂に会して、集中できるよう、座席の配置は放射状にしました。ロータリー活動の幹であり、果実である奉仕活動の基本をおさらいし、各クラブがそれぞれの奉仕活動の実際を共有し、クラブの活動計画の糧にすることを狙いました。

奉仕プロジェクト統括委員会の協力を得て、①石井弘委員長(松戸西RC)の基調講演 ②各クラブ代表の奉仕活動報告と続き、③地区委員(職業、社会、国際奉仕委員会)の方々からコメント、アドバイスを戴いて、内に籠もりがちな奉仕活動のあり方を捉え直しました。

石井委員長が強調された「夢を語り、夢を実現させるために1歩踏み出そう!1歩踏み出すと、クラブに感動と活力が湧き、クラブに変化をもたらします!」のメッセージが会場内を刺激しました。各クラブの奉仕活動が一段と活性化することを期待します。



第10分区 ガバナー補佐
大内 啓 (柏南RC)

第10分区の合同例会及びIMは2018年3月13日柏市のクレストホテルで開催されました。テーマは「理念と実践」としました。これからのロータリーを考えると、「新しいロータリーの流れ」を基本とした国際ロータリーの根本的な理念を学び、構築し、理念の実現に向けて実践する奉仕活動を考えていくべきとの観点から、合同例会の卓話に「ロータリーの友」元編集長 二神典子氏をお招きし、海外のロータリー

との比較をしながら「日本のロータリー」についてお話を頂きました。

IMの基調講演では第2840地区PDG本田博己氏より「奉仕の理念と実践」について講話を頂き、後半は「地域社会での奉仕活動の実践」として取り組み始めた柏南RCの「子ども食堂」の活動報告。「子ども食堂」について柏市福祉協議会の担当者による現状と課題についての説明等を受けた後、各テーブルごとにディスカッションし会員の「奉仕活動の実践」への意識の向上を図りました。



IM開催報告



第11分区 ガバナー補佐
杉山 芳夫 (習志野RC)

RI第2790地区の皆さま、こんにちは。この度は、第11分区の皆様のご尽力でIMが成功裏に終わられたこと、また130名を超える参加者で会場が溢れんばかりの賑わいの中、橋岡GE、崎山PGに御来臨頂いたことに心より御礼を申し上げます。冒頭私から、ロータリアン一人一人の行動と奉仕が「クラブや分区はもとより、日本の、そして世界の様々な課題の克服や平和に貢献することができる」といったお話しを

致しました。また、橋岡GEの基調講演「最新のRI」は、国際協議会の映像を駆使された臨場感あふれる発表で、皆が次年度RIのテーマを深く理解する貴重な機会となりました。

そして恒例の会長エレクトによるクラブテーマの披露では、各クラブの強い意気込みや、改善すべき事項を共有できたのではないのでしょうか。



今回のIMでの学びが、次年度の奉仕活動の起爆剤となることを祈念して、私の報告を締めくくらせて頂きます。



第12分区 ガバナー補佐
安藤 俊雄 (松戸東RC)

2月9日(金)、松戸商工会議所において合同例会に続き、第12分区IMが開催されました(117名出席)。本年度の地区運営基本方針「理念と実践」に応じて、当分区IMでは『実践』について学ぶこととしました。RIの決議23-34等では、「各人が個人として、この理念をそれぞれの職業及び日常生活において実践に移すこと」を推奨しております。そこで、職業奉仕の『実践』をされている野村進様に基調講演をお願いし、同時に、各クラブ会長エレクトに「職業奉仕の実践」について語っていただきました。会員諸兄には『実践』の重要性を再認識され、自らの職業に、日常生活に、そして社会への奉仕に活かしていただけることを期待しております。

いし、同時に、各クラブ会長エレクトに「職業奉仕の実践」について語っていただきました。会員諸兄には『実践』の重要性を再認識され、自らの職業に、日常生活に、そして社会への奉仕に活かしていただけることを期待しております。



『ロータリーの友』を読み、ロータリーを学びましょう

ロータリーの友委員会 地区代表委員 根本 健一 (柏RC)

皆様、日頃は『ロータリーの友』(以下『友』と略)をご愛読いただきありがとうございます。私達には、ロータリーについて学ばなければならない事がたくさんあります。

ロータリーの歴史、ロータリーの目的、ロータリーの組織、4つのテスト、五大奉仕部門、ロータリー財団、米山記念奨学会等々。これ等はロータリアンにとっては必修科目です。そして友はそのための最良のテキストだと思います。どうぞ、これからも『友』を読んで、ロータリーの学習に役立てて下さい。

文庫通信 (367号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

文庫資料から (2)

- ◎「ロータリーを語る」 ロータリー復帰協議会 1948 45p
- ◎「奉仕こそ我がつとめ」 小林雅一訳 東京R.C. 1956 143p
- ◎「そろばんと論語」 塚本義隆 1974 60p
- ◎「はげすめ」 安野謙次 1974 139p
- ◎「ロータリーの心得」 ガイ・ガンデッカー著；田中毅訳 - 33p
- ◎「やさしいロータリーの話-問柄の美学-」 佐藤千壽 1984 27p
- ◎「The Meaning of Rotary ロータリー解析」 Vivian Carter著；田中毅訳 1999 99p
- ◎「ロータリーへの道〔三訂版〕」 ポール・ハリス著；柴田實訳 成田R.C. 2011 372p
- ◎「『ロータリーの理想と友愛』読本」 富田英壽編著 2016 274p

[上記申込先：ロータリー文庫]

— ロータリー文庫 —

〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館：午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

(公財) ロータリー米山記念奨学会ニュース (ハイライトよねやま217号)

今月のトピックス

- ・第3代よねやま親善大使が決定！
- ・2018学年度新奨学生オリエンテーションがスタート
- ・寄付金速報 — 2017-18年度も残り3カ月 —
- ・“よねやま”がテーマのIM — 第2750地区 —
- ・ミャンマー米山学友会が初の年次総会を開催
- ・タイ米山学友会総会報告 — 新役員を選任 —

《今月のピックアップ記事》

第3代よねやま親善大使が決定！

「第3代よねやま親善大使」には36人の学友・奨学生から応募があり、広報委員会、常務理事会にて厳正なる選考の結果、下記3人の方に決定しました。任期は2018年7月から2年間で、日本全国でロータリー米山記念奨学事業をPRします。地区行事でのスピーカーとしてぜひお声掛けください。

親善大使に関するご連絡は当会事務局広報担当まで。

◆エンフボルド, ボロルトヤ

(モンゴル/2010-12/米沢RC)

モンゴル米山学友会創立理事。2016-17年度第3450地区ツェツェウグンRAC会長をつとめ、会長賞を受賞。在モンゴル日本国大使館勤務を経て再び来日し、現在はAI関連企業に勤務している。

◆アブデルアール, アハメド

(エジプト/2013-15/大東中央RC)

早稲田大学大学院博士課程在籍中。また、国際理解支援協会講師として、日本の子供たちへの異文化教育にも尽力。エジプト・アラブ文化を広めるイベントを企画するなど人集めに長けたアイデアマン。

◆李英愛 (イヨンエ)

(韓国/2002-05/札幌南RC)

北海学園大学非常勤講師。第2510地区と韓国第3700地区との通訳を10年間務め、日韓クラブの橋渡し役も多い。

札幌ライラックロータリー衛星クラブ創立会員で、今年度幹事。第2510地区米山委員。

そのほかの記事は、ぜひPDF版をご覧ください。→http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight217_pdf.pdf

寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付

メジャードナー



狩野 文夫
(船橋RC)



青木 忠茂
(船橋RC)



森嶋 康長
(船橋RC)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



宮野 宗雄
(八千代RC)
7回目



瀧 芳文
(船橋RC)
6回目



風間 茂
(八千代RC)
6回目



岩山 修久
(船橋RC)
5回目



遠藤 幸男
(船橋RC)
4回目

新ポール・ハリス・フェロー



三和 正寿
(柏RC)



櫻井 忠久
(船橋RC)
4回目



鈴木 介伸
(船橋RC)
4回目



石井 賢昌
(船橋RC)
3回目



藤代 祐孝
(四街道RC)
3回目



三和 正寿
(柏RC)
1回目

ポリオ・プラス



遠藤 英一
(成田RC)



諸岡 靖彦
(成田RC)



神崎 誠
(成田RC)



成田 温
(成田RC)



長原 正夫
(成田RC)



小寺 真澄
(成田RC)

冠名基金 (PFGRTC) 法人寄付



山崎 敬生
(市川RC)

米山功労者



平山 洋
(八日市場RC)
7回目



堀口 路加
(成田RC)
5回目



神崎 誠
(成田RC)
5回目



加登 章司
(船橋RC)
2回目



松本 ユミ
(柏西RC)
2回目

新ロータリアン (敬称略)



筒井 陽世
(船橋西RC)
運送業
1月1日入会



中基 洋
(市川南RC)
神輿袷具製造販売
1月10日入会



江川 寛次
(勝浦RC)
宗教式典 葬儀業
2月9日入会



鎌田真知子
(柏東RC)
保険コンサルティング
3月1日入会



須永 清彦
(銚子RC)
コンピューターシステム
3月28日入会



野崎 光雄
(松戸RC)
建設業
3月28日入会



尾形 実保
(野田RC)
飲食業
4月2日入会



小池 智
(東金RC)
大学
4月3日入会



渡辺 公禎
(茂原中央RC)
割烹
4月3日入会



大本 尊文
(成田コスモポリタンRC)
都市ホテル
4月4日入会



山田 勇次
(野田セントRC)
熱絶縁工事業
4月4日入会



松浦 真也
(千葉中央RC)
証券業
4月5日入会



阿部 保志
(木更津RC)
証券業
4月5日入会



北村 隆志
(船橋西RC)
損害保険
4月6日入会



林 昌鑑
(勝浦RC)
不動産業
4月6日入会



内山 真琴
(袖ヶ浦RC)
レストラン
4月9日入会



叶川 博章
(木更津東RC)
不動産管理業
4月11日入会

国際ロータリー第2790地区（千葉）出席・会員数報告（2018年3月）

分区	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2017 7/1	女性	当月	女性	増減
第1分区	市川	86.66	3	40	1	34	0	△ 6
	市川東	97.33	3	43	3	44	3	1
	市川南	77.00	3	19	2	20	2	1
	浦安	82.30	3	43	2	45	2	2
	市川シビック	78.73	3	32	0	34	0	2
	浦安ベイ	69.70	3	13	0	15	0	2
平均	81.95	3.00	31.67	1.33	32.00	1.17	2	
第2分区	船橋橋	87.88	3	29	0	31	0	2
	船橋西	87.65	5	42	7	42	7	0
	鎌ヶ谷	80.60	5	34	2	32	2	△ 2
	船橋東	86.07	4	32	3	31	3	△ 1
	船橋南	85.19	3	13	1	14	1	1
	船橋みなと	83.49	4	20	4	18	4	△ 2
平均	85.15	4.00	28.33	2.83	28.00	2.83	△ 2	
第3分区A	千葉葉	86.39	3	80	3	82	4	2
	新千葉	75.22	3	51	0	53	0	2
	千葉西	79.90	3	45	3	52	4	7
	千葉中央	49.29	4	32	0	34	0	2
	千葉幕張	71.05	4	35	2	38	3	3
	千葉東	70.57	3	34	6	30	3	△ 4
	千葉若潮	76.13	4	31	1	34	1	3
平均	72.65	3.43	44.00	2.14	46.14	2.14	15	
第3分区B	千葉南	69.15	4	47	7	47	6	0
	市原	73.38	3	40	3	45	3	5
	千葉港	78.41	4	24	3	24	3	0
	市原中央	72.18	4	50	1	50	1	0
	千葉北	69.14	3	29	3	27	3	△ 2
	千葉緑	100.00	3	26	1	25	1	△ 1
平均	77.04	3.50	36.00	3.00	36.33	2.83	2	
第4分区	木更津	85.63	3	27	2	29	4	2
	上総	68.75	4	15	0	16	0	1
	富津中央	72.67	5	29	1	34	1	5
	木更津東	85.07	3	46	1	50	3	4
	君津	96.29	4	54	4	59	4	5
	袖ヶ浦	82.82	3	25	4	25	4	0
	富津シティ	85.70	3	16	0	14	0	△ 2
平均	82.42	3.57	30.29	1.71	32.43	2.29	15	
第5分区	館山	76.48	4	49	3	48	3	△ 1
	鴨川	89.77	4	31	4	35	5	4
	勝浦	81.25	4	36	4	40	4	4
	千倉	60.00	5	6	2	5	2	△ 1
	鋸南	100.00	3	13	1	14	1	1
	館山ベイ	76.19	4	23	0	22	0	△ 1
平均	80.62	4.00	26.33	2.33	27.33	2.50	6	
第6分区	茂原	89.95	4	62	0	61	3	△ 1
	東金	73.33	3	14	1	14	1	0
	大原	96.67	3	9	1	10	1	1
	大多喜	64.28	4	6	1	7	1	1
	成田空港	82.76	3	35	0	33	0	△ 2
	茂原東	79.62	3	21	1	21	1	0
	茂原中央	84.53	4	21	2	21	2	0
	大網	79.57	3	31	1	31	1	0
東金ビュー	60.00	3	20	1	20	1	0	
平均	78.97	3.33	24.33	0.89	24.22	1.22	△ 1	

分区	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2017 7/1	女性	当月	女性	増減
第7分区	銚子	89.18	3	39	4	41	4	2
	旭	75.93	3	43	3	45	4	2
	八日市場	72.76	3	38	2	38	2	0
	銚子東	78.79	4	32	2	31	2	△ 1
	平均	79.17	3.25	38.00	2.75	38.75	3.00	3
第8分区	佐原	85.63	4	49	0	49	0	0
	多古	66.66	3	15	0	17	0	2
	小見川	83.00	4	23	0	25	0	2
	佐原香取	84.09	4	25	1	25	1	0
平均	79.85	3.75	28.00	0.25	29.00	0.25	4	
第9分区	成田	65.63	5	69	4	72	5	3
	八街	82.88	3	30	3	31	3	1
	印西	78.76	3	20	1	21	1	1
	白井	54.75	3	15	0	14	0	△ 1
	富井	72.49	4	30	0	30	0	0
	成田コスモポリタン	64.72	3	69	0	70	0	1
平均	69.87	3.50	38.83	1.33	39.67	1.50	5	
第10分区	柏	96.20	3	62	9	62	10	0
	我孫子	67.90	4	26	3	27	2	1
	柏西	83.95	4	62	3	67	3	5
	柏東	93.30	4	35	6	41	9	6
	柏南	74.20	3	33	5	40	6	7
	平均	83.11	3.60	43.60	5.20	47.40	6.00	19
第11分区	習志野	79.72	3	26	2	25	2	△ 1
	八千代	88.20	4	51	0	52	0	1
	佐倉	65.52	4	28	3	29	3	1
	八千代中央	85.60	3	22	1	24	2	2
	四街道	73.07	4	27	3	26	3	△ 1
	習志野中央	84.37	4	48	5	49	4	1
	佐倉中央	62.32	3	21	5	23	6	2
平均	76.97	3.57	31.86	2.71	32.57	2.86	5	
第12分区	松戸	90.85	3	55	0	58	0	3
	松戸東	90.16	5	46	0	46	0	0
	松戸北	80.17	3	39	0	40	0	1
	松戸中央	82.59	4	44	6	43	6	△ 1
	松戸西	80.36	4	29	0	28	0	△ 1
	平均	84.83	3.80	42.60	1.20	43.00	1.20	2
第13分区	野田	76.49	4	54	7	56	7	2
	流山	75.55	3	14	4	15	4	1
	野田東	83.81	5	22	0	22	0	0
	流山中央	89.40	3	22	2	22	2	0
	野田セントラル	79.16	3	25	1	25	1	0
平均	80.88	3.60	27.40	2.80	28.00	2.80	3	

クラブ数83RC		
2017年7月1日	地区会員数	2,761人
2017年3月末日	地区会員数	2,839人
2017年7月1日	地区女性会員数	177人
2017年3月末日	地区女性会員数	190人
当月平均出席率		80.42%
増減		+78
女性会員増減		+13

物故会員（敬称略）



渡来 忠雄（第10分区 柏東RC）
 逝去日：2017年10月17日（享年76歳）
 入会日：1986年1月9日
 ロータリー歴：1999-2000 クラブ会長

5月のロータリーレート

108円

青少年スプリングキャンプ報告



青少年スプリングキャンプ報告

青少年交換委員会 委員長
三神 秀樹 (千葉南RC)

3月31日(土)～4月2日(月)の2泊3日、インバウンド青少年交換留学生、交換候補生、ROTEX(青少年交換プログラムを修了した者によって構成されている組織)、そして委員会メンバーで岐阜・石川にてスプリングキャンプを実施いたしました。

飛騨高山では、世界遺産である白川郷を歩きながら、英語で一人ひとり順番に30秒スピーチをして語学研修を行ないました。

突然インバウンドから出題される主題に最初は皆戸惑う候補生達でしたが、何回か順番がまわってくるにつれ、次第に話せるようになりました。金沢では、兼六園の桜が満開でした。素晴らしい景色を楽しみながら、また歩きながらの語学研修が沢山できたと思います。先輩学生のROTEX達も、適宜インバウンドと候補生に助言をし、上手く指導できていた様子です。また、日本の伝統文化や歴史にふれる事が多かったので、沢山の気づきもありました。天候に恵まれた今回のスプリングキャンプで、参加者全員ひとまわり成長できたものと確信いたします。ありがとうございました。

今回は引率する立場として、スプリングキャンプに参加しました。2泊3日という短い時間でしたが、充実した時間を過ごす事ができました。今回は岐阜県と石川県に行きました。白川郷では昔ながらの古い街並みを観光し、兼六園では満開の桜を見学しました。金箔貼りも体験しましたが、とても難しかったです。この3日間で参加者全員がより仲良くなれたと感じています。ありがとうございました。(ROTEX会長 坪井 桃子)



岐阜の白川郷で昼食

スプリングキャンプは楽しかったです。最初に皆さんで名古屋に新幹線で行きました。今までにも新幹線に乗ったことがあるけど楽しかったです。歌舞伎の練習は難しかったけど、できてうれしかったです。ホテルの温泉は気持ちよかったですから、もう一度行きたいです。2日目は忙しかったです。白川郷はちょっと暑かったけど楽しかったです。ニンジャ寺の設計は特に面白かったです。その後の夜ご飯は美味しかったです。3日目の金箔も興味深かったです。兼六園の枝垂桜と梅と根上りの松と唐崎の松は楽しかったです。この旅行はいい思い出になりました。(ルーカス)

この3日間本当に楽しかったです。岐阜と金沢に行きました。岐阜はとてもきれいだと思いますから、私の一番好きな古い場所になりました。金沢ではいろんなことをしました。例えば、きれいなレストランで食べたり金沢駅に行ったりしました。この3日間で友達と遊びましたから、ロータリーに感謝したいと思います。(フェルディナンド)

スプリングキャンプお疲れ様でした！1日目は電車乗るのはとても楽しかったです！私は久しぶりに留学生の皆さんに会って、話せたのでとても楽しかったです。着いた時、最初のホテルは良かったと思いました。そのホテルのお風呂は気持ち良かったです。私は日本の文化に興味があるので、2日目の白川郷を見るのは興味深いですね！白川郷の家の屋根は面白かったです。アメリカでそれはないからです。

それから、白川郷の上からいっぱい山が見えたから、それは好きだった。金沢に着いた時、西茶屋街と忍者寺に行くことは良かった。忍者寺はすごい最高でした。2日目はたくさん日本の昔の文化を見たので2日目は大好きだった。2日目のホテルのお風呂はちょっと暑すぎたから、出たら頭が痛くなりました。まあ気持ち良かったけど。3日目の東茶屋街の桜と兼六園もうつくしかったです。わたしは兼六園の自然が大好きでした。このスプリングキャンプはとても素晴らしかったです。みなさん、本当にありがとうございました。(スペンサー)

インバウンドとアウトバウンドはスプリングキャンプに行きました。歌舞伎の練習と白川郷を探検しました。最初は飛騨高山に新幹線で行きました。金沢の桜



昼食金沢の兼六園に

金沢ひがし茶屋街にて



金沢ひがし茶屋街にて

最初は飛騨高山に新幹線で行きました。金沢の桜

は、とてもきれいでした。あとは、皿に金箔を貼る体験をして楽しかったです。一緒に行った皆さん、ありがとうございました。(シケリ)

この3日間は本当に良かったです。美味しい料理を食べたし、綺麗な所に行ったし、アウトバウンドといろいろな話をしました。写真を撮りすぎて、記憶に残らなかったのです。新幹線に乗ることは初めてでした。白川郷の風景は私にスイスを思い出させました。この3日間は皆さんのおかげで楽しかったです。ありがとうございました。(ハナ)

スプリングキャンプに参加して、初めて岐阜県と石川県に行きました。1日目、高山までの移動中では英語での会話を頑張りました。高山では美味しい団子を2つ食べ、高山陣屋に行き長い歴史を感じました。2日目、白川郷を散策し、古い町並みをスピーチしたり、新しい英単語を覚えたりしながら歩きました。3日目、兼六園や東茶屋街散策でした。桜が綺麗に咲いていて、ガイドさんの話を聞くのも楽しかったです。短い間でしたが観光+英会話をさせてもらい、良かったです。ありがとうございました。(吉野 杏)



ひがし茶屋街で英会話

私はスプリングキャンプを通して3のことを成し遂げることができました。1つ目は日本の文化を実際に肌で感じたことにより、自分の知識を増やすことができたことです。2つ目は普段より多く英語に触れることができたことです。その中でも決まったお題について30秒間英語で話すゲームは、1番自分のためになったと思います。3つ目は皆との仲が深まったことです。この3日間で学んだことを、今後の留学や活動につなげて行きたいと思います。(西村 美怜)



金沢城の前で記念撮影

今回のスプリングキャンプで改めて日本の文化を学びました。岐阜・白川郷では、雪が多い地域ならではの日本人の知恵や工夫を見ることができました。伝統的

な造りを見て、当時の人々の苦悩を知りました。体験学習の金箔貼りはとても難しく、大変でした。金沢市では、兼六園、東茶屋街などを探索して、桜も見られて楽しかったです。このスプリングキャンプで、日本の文化を実際に見て学びました。参加させていただき、ありがとうございました。(木本 真由)

私は今回のスプリングキャンプで初めて白川郷に行きました。そこで昔ながらの日本の文化に触れて自分の国の歴史について学ぶ事ができました。特に楽しかった場所は忍者寺です。色々な仕掛けがあって、当時の人達の動きが想像できました。隠し階段や隠し扉、未だに解明されていない井戸の中などの話を聞いて、普段なら、お寺や神社のような場所はあまり興味が無かったのですが、忍者寺はとても楽しめました。

英語でのスピーチや、インバウンドとの会話の中で、相手に上手く伝わった時がすごく嬉しかったので、これからももっと自分の気持ちを英語で表現できるように努力していきたいと思いました。とても充実した3日間でした。ありがとうございました。(佐藤 帆風)

私はスプリングキャンプで初めて岐阜県と石川県に来ました。日本には伝統のある文化がまだまだ沢山あることに気付かされました。高山陣屋、白川郷では昔ながらの家、忍者寺、兼六園、東茶屋街と日本はとても伝統を大切に、守っていることを良く学びました。日本について少し詳しくなれたかなと思います。移動中で、英語を話していた時に改めて英語で伝える難しさを感じました。いろいろなことに気付いて良かったです。このキャンプで気付けたことを生かしていきたいと思います。参加させていただき、ありがとうございました。(迫山 夏愛)

この3日間英語はもちろん、日本の歴史にも触れることのできた充実した日々でした。なかでも2日目にやったスピーチのゲームが印象に残っています。英語で自分の言いたいことを言うことの大変さを実感しました。しかしそれよりも驚いたのはインバウンドの人たちの意見がしっかりしていたことです。常に自分の意見をしっかりと持ち、はっきりと相手に伝えられる留学生になりたいです。また今回体験した日本の伝統文化をぜひ交換留学生に伝えたいです。(青野 晶子)



石川観光物産館で金箔貼



米山記念奨学会だより



地区大会・米山の集い・終了式・歓送会のご報告

2017-18年度 米山記念奨学委員会 委員長 富 一美

地区大会2日目の2月25日（日）に、午前中の本会議場に於いて、ホームカミングで招聘いたしました世界で活躍するモンゴルの米山学友ジャンチブ・ガルバドラッハ氏に、「国際舞台で活躍できる人材育成」というテーマでご講和をいただき

きました。山形大学修士2年目に、米山奨学生に選考されたガルバドラッハ氏は日本の発展やその原因となった教育に憧れ、「国づくりは人づくり、人づくりは教育」と考え、そこから将来のモンゴル国を背負う人材を育成する夢を持つようになったそうです。日本とモンゴルのかげ橋になっているガルバドラッハ氏は2013年に日本の外務大臣表彰を受賞、2017年秋には、日本国から外国人受賞者の一人として旭日小綬章（The Order of the Rising Sun, Gold Rays with Rosette）を受章されました。モンゴル国を背負っていく優秀な人材を多く育成するために、日々努力している教育者であります。



続いて、午後から当地区の恒例になっている「米山の集い」を行いました。イオンコンパス幕張会議室に場所を変え、午前中に続きジャンチブガルバドラッハ氏に約1時間30分程ディスカッションを交えながら「奨学生時代からこれまでの人生経験に基づき、現役奨学生に伝えたい事など」をテーマにご講話をいただきました。



ガルバドラッハ氏から奨学生の皆さんへ「人間には転換期があると思う。それは私には米山奨学生となった時に訪れた。

私費留学生で苦労していた私にその奨学金は不思議な力を与えてくれた。夢を持たた。その夢を実現することに努力した。また、ロータリアンの仲間も協力してくれてモンゴル初の高校を開講できた。」と熱く語っていただきました。

その後は、財団学友やローターアクトの学友の皆さんも参加し、交流を深めることができ、大変有意義な米山の集いに成りました。

続いて、3月10日（土）本年度の米山奨学生25名の皆さんは、無事終了式を迎え、また新たに世界に平和の種をまくことが出来ました。

終了生（卒業生）の皆さん、卒業おめでとうございました。そして、お世話いただいたカウンセラー並びに世話クラブの皆様、ありがとうございました。

第1部の終了式の後、第2部の歓送会でも奨学生とカウンセラーの思い出話と今後の抱負に花が咲き、予定終了時刻を延長するなど、とても思い出深い歓送会となりました。

米山学友になってからもロータリー精神或は米山精神を旗印に、より良い世界、国際理解と親善、そして、平和構築に向けてご活躍いただけることを切に願っております。



葛飾辰女 朝顔と美人図
葛飾辰女（かつしか・たつじょ 生没年…不詳）は、葛飾北斎の門人。北斎の娘とされるが、三人（または四人）たとされる娘の内誰を指すのかは不明。近年では、落款の筆跡や、手指・頭髮などの細部描写が類似する事から、北斎の三女・葛飾応為の若い頃の画号であるとする説が有力である。作画期は文化〜文政年間（西暦一八〇〇年代前半）とみられ、北斎に似た画風の肉筆美人画四点が知られる。